



議長	副議長	事務局長	係

平成28年9月7日
8時35分 受領
平成28年 9月 7日

伊根町議会議長 泉 敏夫 様

伊根町議会議員 佐戸 仁志

一般質問通告書

次のとおり通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
今以上の舟屋群 保存を	<p>伊根舟屋群は、伊根町観光の核となっている。</p> <p>観光を生業とする方も多いとはいえないが徐々に増えつつある。</p> <p>今、日本各地でおこっている地震・台風・大雨等の災害が起き大きな被害を受けた時住民の高齢化、後継者不足となっているこの町で再び元の街並みとなるだろうか。</p> <p>伊根町舟屋群は伊根港岸に「群れている」事が良い景観と なっていて近年、火災・老朽化・譲渡等により解体され 駐車場となり、景観をこわしている。</p> <p>年間十数件ある伝建物改修工事物件の外見だけでは わからない内部の腐食、耐震診断等行い住民にアドバイス 出来る体制をとってはどうか。</p> <p>あきらかに建物が傾き老朽化が目立つ建物に改修を お願いするような事が出来ないか。</p> <p>住民が伊根町を離れ更地となっているような土地を町が 買い取り町施設等建設し「群」となる街並み景観を復活しては どうか。</p> <p>現在も手厚く保存されているが、もう一步踏み込み 今以上の保存を願う。</p>	町長

発言時間 約 15 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする



議 長	副議長	事務局長	係

平成 28 年 9 月 7 日
9 時 17 分 受領

伊根町議会議長 様

伊根町議会議員

松山 義宗

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
観光客受け入れ準備と体制は	<p>平成 28 年 6 月 28 日に京都府北部地域連携都市圏振興社が発足しました。構成と内容は、舞鶴・宮津・京丹後から 6 人の職員が常駐し、JTB 西日本と京都銀行の 2 名が加わり総合企画局を構成し、滞在型観光コンテンツを生み出す地域本部として位置づけられました。当然、地域住民や関係生産者にとっても大きな期待を寄せていることと思います。</p> <p>一方で人員を確保している地域本部とは別に、観光事業を一手に担う各市町村の職員においては、今後のイベント企画、イベント実施、会員サービス、事務処理、苦情対応、会議研修等に加え、新組織との調整などを含めると、考えただけで激務であることは想像できます。</p> <p>京都府北部においては京都縦貫自動車道の開通により、当該町への入込観光客数も昨年は増大したとの報告もあります。</p> <p>観光人口、交流人口の拡大を目的とした施策を展開している当該町は、新たなイベント等を企画し観光客に対して魅力ある伊根町をアピールすべく奮闘していることも承知しております。観光を重視する当該町としては聊か人員に不安を感じております。</p> <p>お尋ね致します。現在の体制と人員で伊根町の今後の企画・観光事業をどのように展開するのか</p>	町長

158



議 長	副 議 長	事 務 局 長	係

平成 28 年 9 月 7 日
9 時 20 分 受領

平成28年9月7日

伊根町議会議長 泉 敏夫 様

伊根町議会議員 山根 朝子

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
子どもの貧困対策について	<p>1、2012年には子どもの貧困率（16.3%）が相対的貧困率（16.1%）を上回る状況となり、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立し「子供の貧困対策に関する大綱」が制定された。京都府も5か年計画で子どもの貧困対策推進計画を作成した。全国的にも京都府でも、まずは子どもの貧困の実態調査から始めなければならない状況のようだが、伊根町においては子どもの貧困の状況をどのように把握しているのか。</p> <p>2、京都府の子どもの貧困対策計画では学力向上のための事業や、子どもの居場所づくりにも力を入れている。生活困窮者自立支援制度との関係でも、子どもの学習権、進学保障の対策が求められる。伊根町では児童・生徒数も少なく、熱心な先生方の関わりにより、学校内で問題の解決が図られやすいかもしれないが、他団体や他分野の視点も加えたネットワークづくりは必要ではないか。親や先生だけでなく地域の中に温かく見守ってくれる居場所があり、頼れる大人がいるということは子どもたちにとって大きな救いとなり生きる力になるのではないか。子どもの居場所づくりに積極的にかかわる必要があると考えるが、見解を問う。</p> <p>3、就学援助制度は小・中学生が安心して勉学に励むために必要な制度だが、伊根町での活用状況、認定基準の有無と基準値、周知の仕方について問う。</p>	<p>伊根町長</p> <p>教育長</p>
	発言時間	約 15 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする。



議長	副議長	事務局長	係

平成28年9月7日
9時21分 受領

平成28年9月7日

伊根町議会議長 泉 敏夫 様

伊根町議会議員 大谷 功



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
○大学奨学金、奨学金返還制度の創設について	<p>高い学費、非正規雇用増加、低所得にもかかわらず多額の奨学金返済、ブラックな労働環境を強いるアルバイトなど、大学で学ぶことが、かつてなく厳しくなっている。特に奨学金の返済に行き詰まることで、若者の夢と希望を後押しすべき奨学金が、若者の人生を狂わせるという事態が起きている。</p> <p>最近になり、国が給付型の奨学金制度を検討する報道があり、期待するところであるが、これだけで、もう奨学金を借れる必要はないということにはならないと考える。</p> <p>予算は無尽蔵ではないにしても、人材育成の面から、町独自の奨学金制度も必要である。また、奨学金返済に苦悩する若者救済と、定住促進の意味も絡め、たとえばUターンIターンに関わらず、伊根町に定住5年を条件に、大学奨学金返済を一部支援する、奨学金返済支援制度を検討してはどうか。</p>	伊根町長
		発言時間 約 20 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする。



議 長	副 議 長	事 務 局 長	係

平成28年 9月 7日
14時50分 受領

平成28年 9月 7日

伊根町議会議長 様

伊根町議会議員 上辻 亨



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
一人暮らしの方や高齢者世帯への生活支援策について。	<p>(1)当町では一人暮らしの方や高齢者世帯が増加傾向であります、高齢者夫婦の二人暮らし、親子の二人暮らしといった世帯が多くあります。</p> <p>二人暮らしの世帯で一人が亡くなられた場合一人で家事や洗濯、身の回りのことをしなくてはなりません、一人暮らしになるとどうしても家の中が片付かずゴミ屋敷傾向になる方がおられます、普段出来ていたことが出来なくなった方や、身体が不自由となり出来なくなる方など、ゴミ屋敷となるケースもあり近所の方や民生委員さん等の指導もありますが、なかなか家の中の掃除や片づけ、ゴミの処理までは手伝うことが出来ないのが現状であります。</p> <p>ゴミ屋敷により健康管理や食生活、また悪臭やネズミ、害虫の発生といった環境衛生の面だけではなく、防災、防犯面からも問題課題と考えます、また何ら福祉的支援を受けていない方や、行政・第三者との関わりを拒否されている方や「ごみではない」と主張されると敷地内への立ち入りも出来なくなるのではないかと思います。</p> <p>そのような方へ今後、行政で出来る支援策の考えはないか町長の考えを問う。</p> <p>(2)今後の一人暮らしの世帯の増加や高齢化の進行を考えれば、地域から孤立を防ぐことも当町の喫緊の課題と考えるが町長の考えを問う。</p>	町長

発言時間 約 15分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする。



議長	副議長	事務局長	係

平成28年9月7日
12時52分 受領

平成28年9月7日

伊根町議会議長 泉 敏夫 様

伊根町議会議員 濱野 茂樹

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
人材確保支援について	<p>町の基幹産業である水産業をはじめ、各産業分野において人材不足問題が深刻化している。</p> <p>雇用の確保と産業の振興を図ることを目的に人口減少が続く当町への就職を促進し、地方への新しい人の流れを促すため、人材不足が顕在化している分野における人材確保を図るべく、事業者への新たな人材確保支援策が必要だと考えるが町長の見解を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町内に従業員の居住を目的とした住居(空き家を含む)を、新たに取得した事業者に対して、その費用の一部を助成する考えはないか。 ・医師住宅や入居がままならない町営住宅を事業者に賃貸する考えやお試し住宅として活用する考えはないか。 ・合同就職説明会等の出展・参加経費や就職情報媒体への掲載に必要な費用の一部を支援する考えはないか。 ・新たに従業員を正規雇用した町内の事業者に対し奨励金等を交付するなど支援する考えはないか。 	町長
ゴミのポイ捨てについて	<p>ゴミのポイ捨てについては、日本で最も美しい村の5S運動や舟屋群保存会、日の出会、老人会等によるクリーン活動が実施され、また、不法投棄対策事業を実施するなど成果は評価に値する。</p> <p>また、10月には「京都宮津湾・伊根湾」が、国連教育科学文化機関(ユネスコ)後援の非政府組織(NGO)「世界で最も美しい湾クラブ」に正式加盟することが内定し、日本で最も美しい村をはじめ、益々、世界でも注目される町となる。</p> <p>たばこの吸い殻等ゴミのポイ捨ては、遊漁や観光客だけではなく、町全体の課題として取り組むべき問題である。</p> <p>この地域に誇りをもって生活し、次世代に引き継ぐことはもちろん、この素晴らしい景観を心無い者の空き缶やたばこの吸い殻等のポイ捨てによって汚している恥ずかしい現状を見るにあたり、ポイ捨てをしない、まちを汚さないということが、「伊根町の美しい景観を守る」</p>	町長

<p>宮津高校伊根分校の利活用について</p>	<p>一つのテーマとなる。 伊根町民の誇りであるという思い、美しい伊根町を後世に守り継いでいくためにも、ゴミのポイ捨て条例の制定やポイ捨て禁止宣言について、検討・実施すべきだと考えるが町長の見解を伺う。</p> <p>宮津高校伊根分校については、峰山高校弥栄分校の校地に統合し、京都フレックス学園構想に基づく柔軟な教育システムによる教育を推進することが、「丹後地域における府立高校の在り方に係る基本的な考え方」の中で示された。 今後の展開次第では、伊根町の玄関口である日出地区に大きな公共用地ができることになる。 本分校の今後の利活用や予定について、町長のビジョンについて伺う。</p>	<p>町長</p>
-------------------------	--	-----------

発言時間 約 30 分

- (注)
- 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
 - 2 質問の相手は、町長、教育長とする。